



# 第1回勉強会の内容

6月28日(金)夜と29日(土)午前  
に多聞小学校「丘の子ルーム」にて開催

## ●世田谷消防署三宿出張所長 百川氏による講演と皆さんとの意見交換

### 講演内容①：「自助」と「共助」

自助として「電話が不通になった場合を想定し、連絡方法や連絡先を家族で決めておく」、共助として「地域で行う防災訓練へ積極的に参加する(特に実態に即した発災対応型防災訓練)」などが重要です。



### 講演内容②：発災対応型防災訓練



スタンドパイプのイメージ

「発災対応型防災訓練」とは、地震発生時を想定した、①町会本部設営、②初期消火、③救助活動、④災害時要援護者対応、⑤スタンドパイプによる消火活動などを行うもので、多くの町会で実施しています。

### 講演内容③：災害時要援護者\*

世田谷区内では、災害時要援護者の情報提供に関する協定を締結しており、世田谷消防署管内では23町会が締結しています。防災訓練などを通じて、自ら災害時要援護者を把握していくのも良いことです。

\*災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障害者



スタンドパイプの訓練を受けたことがあるがもっと練習したい。町会等の会員は高齢化しているので、PTAや学生など若い世代の力を活用し、またこれらの世代を育てていくことが大切だと感じた。  
⇒世田谷消防署にて訓練することが可能です。町会から消防署へ防災訓練の要請があれば対応できます。(消防署)

古くなった消火器の中身の交換や廃棄に対して区からの助成等があれば教えてほしい。  
⇒世田谷区では、家庭用消火器の購入や古くなった消火器の引き取り、及び住宅用火災警報器を購入する際に専門業者をあっせんしています。  
(※ご希望の方は、下記までご連絡ください)(区)

### 世田谷区 災害対策課

電話：03-5432-2262(直通)

東京都消防設備協同組合第12支部事務局

(有)荒木商会 電話：03-3300-0717

※区が直接訪問販売・回収を行うことはありません。



## ●世田谷区によるみんなで考える「災害に強い街づくり」についての説明

### ①皆さんがお住まいの地区は「密集市街地」で以下の特徴があります

- ・建物密集して建っている
- ・老朽化した木造住宅が多い
- ・道路が狭い
- ・公園等のオープンスペースが少ない



災害時に大きな被害を受ける可能性が高い

### ②密集市街地を災害に強くする要素としては

- ・延焼を防ぐ
- ・避難路を確保する
- ・公園などのオープンスペースを確保する
- ・新たな密集を防ぐ

などがあります。



オープンスペースのイメージ

### ③災害に強い街づくりは2つの柱で取り組みます

- ・修復型の街づくり  
できるところから順に取り組む(建替え時等に協力していく)
- ・住民参加の街づくり  
みんなで知り、みんなで将来像を考え、実現するための手法を考える



計画として策定したものが「地区街づくり計画」や「地区計画」です。

今年度は「みんなで自分たちの街のことを知ろう」という目標で講演などを開催して取り組んでいます。今後は、街歩きなども計画しています。是非ご参加ください。

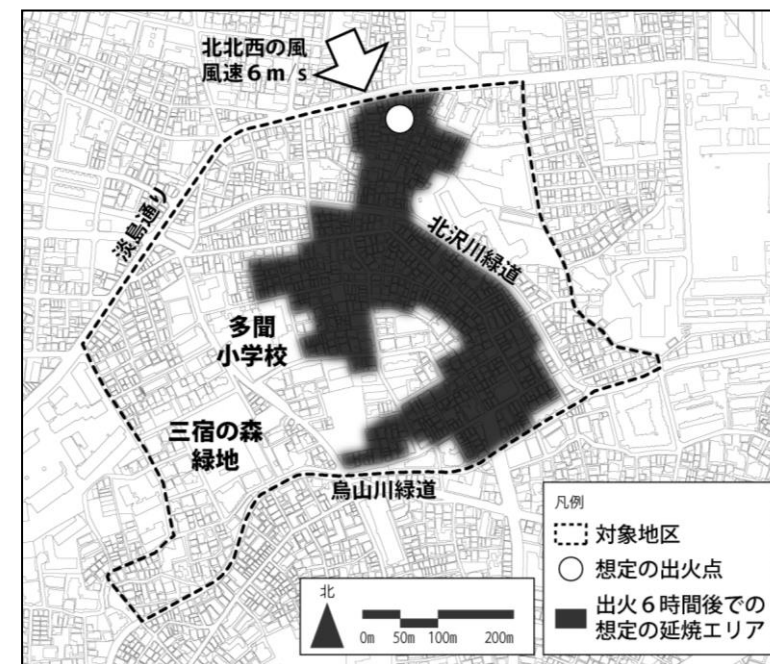
## 私達の街を知る・その2

### 現状2：延焼シミュレーション結果

震災時の延焼、市街地大火の危険性を確認するために一定の条件(北北西の風、風速6m/s)で国土交通省等の開発による延焼シミュレーションを行ってみました。

現在の建物構造では、当地区北側を出火点とした場合、出火6時間後には、当地区の約3割のエリアが延焼する結果となりました(下図参照)。

### 当地区内で出火した場合の出火6時間後での延焼シミュレーション結果



消火活動はできないとの想定ですが、延焼は止まることなく広がりました。

## 「災害に強い街づくり」の検討の予定

平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 秋	平成25年 12月	平成26年 冬	平成26年 春
第1回勉強会 消防署による講演 (前回)	第2回勉強会 防災の専門家による講演 今回!!	アンケート調査 街づくりの課題やルールについて 対象約4千件	第3回勉強会 街づくりルールに関する講演・街歩き	第4回勉強会 当地区の街づくりにおける課題の整理	報告会 災害に強い街づくりの方向性について

ルールへの検討へ